



# 臨床ストレス応答学会

The Biomedical Society for Stress Response

## BSSR NEWS LETTER No. 12

2017. 7.1

### 第 11 回臨床ストレス応答学会大会開催報告

第 11 回大会長 中井 彰 (山口大学大学院医学系研究科)

平成 28 年 11 月 11 日 (金)、12 日 (土) の 2 日間、第 11 回臨床ストレス応答学会大会を山口大学医学部霜仁会館にて開催させていただきました。学内外の多数の皆様のご協力の下、全国より 70 名を超える参加者をお迎えして活発な討論が行われました。

最近のストレス応答研究のトピックスの一つは、細胞の様々な代謝がストレス応答を介して多くの老化関連疾患を含む難治性疾患の進行に影響を与えることが明らかとなってきてきたことです。本大会の特別講演 1 では、筑波大学の深水昭吉先生に代謝と関連するアルギニンメチル化酵素 PRMT1 とストレス応答についてご講演いただきました。一方、タンパク質分解を調節するユビキチン化は、広範な生理機能を担う化学修飾の一つであることも注目されています。特別講演 2 では京都大学の岩井一宏先生に独自に解明してこられた直鎖状ユビキチン鎖と炎症疾患およびがんについてご講演いただきました。また、シンポジウム I 「核を介するストレス適応機構」およびシンポジウム II 「ストレス応答と疾患」も開催いたしました。前者では、当該分野をリードする先生方に NRF2、HSF1、HIKESHI、OASIS 等が核へのシグナル伝達を介して如何に不良なタンパク質や DNA、あるいは代謝の恒常性を保つかについてご講演をいただきました。後者では、がんの進化、肝疾患や腎疾患とストレス応答について最新の知見をご講演いただきました。さらに、ランチョンセミナーでは大阪大学の伊川正人先生に医学・生命科学研究技術を激変させつつあるゲノム編集についてご講演いただきました。一般演題ではこれまでの大会での形式を継承し、発表者にはすべて口頭発表およびポスター発表を行っていただきました。後者は短い時間でしたが、極めて熱心に討論されている様子がうかがわれました。その中から 5 名の方に若手研究奨励賞を授与いたしました。

本大会では、特別講演から一般演題まで全ての演題が密接に関連していること、そしてそれぞれの演題の質の高さに改めて感銘を受けました。招待の先生方を含め、多くの会員

## *The Biomedical Society for Stress Response*

が遠方にも関わらず最後まで活発な議論に参加していただいたことを感謝しております。最後に、本大会の準備と運営にご協力いただきました学会会員の皆様、協賛いただきました企業の皆様および教室員に深く感謝申し上げます。

### 懇親会での若手研究奨励賞受賞式



## 臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞

2016年度第5回若手研究奨励賞は、柴田亮行選考委員長をはじめとする4名の選考委員の厳正な審査のもと、以下の5名の先生が選ばれ、懇親会において授賞式が行われました。

### ～基礎系～

加藤 裕紀（宮崎大学医学部機能生化学分野）

「小胞体ストレス受容体 PERK を介したミトコンドリア品質管理機構の解明」

譚 克（中国河北師範大学生命科学学院生理学研究室）

「HSF1-SSBP1 complex maintains mitochondrial function via upregulation of NRF1 expression during heat shock」

原地 美緒（東京女子医科大学病理学第一講座）

「EGFR-mTORC1 経路はがんのエピジェネティクスを制御する」

### ～臨床系～

西田 充香子（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科免疫学）

「酸化ストレスはメトホルミンによる抗腫瘍効果を誘導する」

岡 真太郎（山口大学医学部泌尿器科学講座）

「マウス Leydig 細胞でのステロイド合成における HSF1 の役割」

### 2016年度 若手研究奨励賞選考委員

柴田 亮行（東京女子医科大学）選考委員長

永井 義隆（大阪大学）

徳永 文稔（大阪市立大学）

鳥越 俊彦（札幌医科大学）

## 第 12 回臨床ストレス応答学会大会のご案内

この度、第 12 回臨床ストレス応答学会大会を東京都新宿区にある東京女子医科大学河田町キャンパスで開催させていただくことになりました。毎年、夏の訪れを予感するこの季節にニュース・レターの形で本大会の概要をお知らせするならわしとなっております。本大会は単なる一方的な研究発表の場にとどまらず、ストレス応答の分析を通じ、ヒトの疾患病態解明と新規治療法開発という大きな目標に向かって日々切磋琢磨する多様な分野の理系研究者が集い、活発な意見交換を行う、学際的でユニークなミーティングです。この精神を全うできるよう、私ども大会事務局は大会の準備を鋭意進めております。

本大会の目玉である二つのシンポジウムと一つの特別講演についてご紹介します。シンポジウム 1「神経変性疾患における異常蛋白質の毒性、蓄積および伝播」は、近年の分子生物学的解析手法の進歩により明らかにされつつある、異常蛋白質の神経毒性に加え、まるで癌のように拡散するメカニズムにスポットを当て、神経科学分野のスペシャリストから最先端の研究を概説していただきます。シンポジウム 2「鉄過剰ストレスに起因する疾病病態」は、生体が抱える鉄出納バランス制御機構の未熟さ、およびこれに関連する様々な病的現象について、各分野のスペシャリストから最新の知見をご紹介します。特別講演は、悪性神経膠腫の分子病理学的研究のトップランナーである米国カリフォルニア大学サンジエゴ校 Ludwig Institute for Cancer Research のポール・S・ミシエル教授からお話しいただく「がん細胞における遺伝子異常と微小環境ストレス応答」です。いずれも興味深いテーマですので、講演内容をベースに活発な討論が交わされることが期待されます。

一般演題は口演（口頭発表）と示説（ポスター発表）に振り分けられますが、ポスター発表の演者にもプレゼンテーションの機会を設けたいと考えております。また、若手研究奨励賞を 5 名に授与する予定ですので、積極的に応募をお願いします。本大会が参加者の方々にとって充実した時空間となりますよう、私ども主催者側は最大限尽力する所存です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成 29 年 6 月 吉日

第 12 回臨床ストレス応答学会大会長

東京女子医科大学病理学（第一）教授・講座主任

柴田 亮行

会期：2017年11月4日（土）、5日（日）

会場：東京女子医科大学河田町キャンパス内

東京都新宿区河田町 8-1

<http://www.twmu.ac.jp/univ/access.php>

39歳以下の若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を選考いたします。

詳細は演題申込方法をご覧ください。また、下記の特別講演1題、シンポジウム、ランチョンセミナーを予定しています。

#### 特別講演

11月5日 「がん細胞における遺伝子異常と微小環境ストレス応答」  
ポール・S・ミシエル 教授  
(Ludwig Institute for Cancer Research, UCSD)

#### シンポジウム

11月4日 「神経変性疾患における異常蛋白質の毒性、蓄積および伝播」  
11月5日 「鉄過剰ストレスに起因する疾病病態」

一般演題募集： **演題応募締切：2017年9月10日（日）**

演題申し込み要領は学会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

#### 大会事務局：

第12回臨床ストレス応答学会大会事務局

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病理学第一講座 内

Tel: 03-3353-8112（内線22233） Fax: 03-5269-7408

e-mail: miyaguchi.yuko\_1@twmu.ac.jp

#### 学会事務局：

札幌医科大学医学部病理学第一講座内

Tel: 011-611-2111（内線26910） Fax: 011-643-2310

e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

## *The Biomedical Society for Stress Response*

大会参加費： 一般 5,000円 学生 2,000円  
学会当日、受付にてお支払いください。

### 事前参加申込方法：

参加登録は大会ホームページから登録してください。

<http://bssr.jp/endai/>

**事前参加申込締切：2017年10月20日（金）**

### 演題申込方法：

本学会の一般演題発表者としてのお申込みは、一人一題に限られます。ただし、他の演題の共著者になることは差し支えありません。また、発表者は本学会員に限ります。申込みには事前参加登録及び年会費の振込みが必要です。

演題申し込み要領は下記大会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

**演題申込締切：2017年9月10日（日）**

### 若手研究奨励賞について：

臨床ストレス応答学会では、若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を設けます。応募資格・応募方法・選考方法・授賞式に関する詳細は下記の通りです。

- 応募資格: 第12回臨床ストレス応答学会大会当日(2017年11月4日)において、39歳以下の若手研究者。
- 応募方法: 演題応募時、抄録ファイルに「若手研究奨励賞に応募する」と記載すること。
- 選考方法: 若手研究奨励賞への応募演題は大会中に口演およびポスター形式でご発表いただきます。抄録と発表内容を4名の選考委員が審査し、5名程度の受賞者を選出します。
- 授賞式 大会1日目(11月4日)の懇親会において、大会長より賞状並びに副賞(賞金)が授与されます。

## *The Biomedical Society for Stress Response*

### 大会実行委員：

委員長：柴田 亮行（東京女子医科大学病理学第一講座）

### 委員：

跡見 順子（東京農工大学大学院工学府応用化学有機材料化学）

市原 淳弘（東京女子医科大学高血圧内分泌内科学講座）

鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科免疫学分野）

川俣 貴一（東京女子医科大学脳神経外科学講座）

北川 一夫（東京女子医科大学神経内科学講座）

徳永 文稔（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）

豊國 伸哉（名古屋大学大学院医学系研究科生体反応病理学）

鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）

中井 彰（山口大学大学院医学系研究科医科学分野）

永井 義隆（大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学）

松岡 雅人（東京女子医科大学衛生学公衆衛生学（一）講座）

養王田 正文（東京農工大学大学院工学府生命工学専攻）

渡部 和彦（杏林大学保健学部臨床検査技術学科神経病理学）

（五十音順）

### 大会事務局：

第12回臨床ストレス応答学会大会事務局

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病理学第一講座 内

Tel: 03-3353-8112（内線22233） Fax: 03-5269-7408

e-mail:miyaguchi.yuko\_1@twmu.ac.jp

学会役員・幹事・評議員

学会役員（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

会長	鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
副会長	樋口 京一（信州大学大学院医学研究科 教授）
	鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部 教授）
総務	中井 彰（山口大学大学院医学系研究科 教授）
会計	大塚 健三（中部大学応用生物学部 教授）
監事	六反 一仁（徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野 教授）
企画	養王田 正文（東京農工大学大学院工学府 教授）

アドバイザー	永田 和宏（京都産業大学総合生命科学部 教授）
	佐藤 昇志（札幌医科大学医学部 名誉教授）
	野村 馨（大月市立中央病院）
	田中 啓二（東京都医学総合研究所 所長）
	伊藤 英晃（秋田大学大学院理工学研究科 教授）

学会幹事

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
鵜殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
徳永 文徳	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療

## The Biomedical Society for Stress Response

原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
藤田 潤	幸生会琵琶湖中央病院診療部
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標の学講座
馬嶋 秀行	鹿児島大学医歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
六反 一仁	徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室

以上 36 名（五十音順）

## 学会評議員

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻生体機能高分子分野
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
岩脇 隆夫	群馬大学・先端科学研究指導者育成ユニット
鶴殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
江口 傑徳	岡山大学大学院医歯薬総合研究科歯科薬理学分野
大塚健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
小山田 正人	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
金関 貴幸	札幌医科大学医学部病理学第一講座
木村 洋子	静岡大学大学院農学研究科応用生物化学専攻
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
桑田 一夫	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
小亀 浩市	国立循環器病研究センター分子病態部
後藤 知己	熊本大学教育学部養護教諭養成課程
小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部生命基礎科学講座
小安 重夫	独立行政法人理化学研究所統合生命医科学研究センター
笹栗 靖之	産業医科大学第二病理学
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
佐原 弘益	麻布大学獣医学部
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科

## *The Biomedical Society for Stress Response*

田中 啓二	東京都医学総合研究所
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
田村 裕	千葉大学大学院医学研究院
千葉 進	札幌山の上病院神経内科臨床脳神経研究施設
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西田 憲生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
久枝 一	群馬大学大学院医学系研究科国際寄生虫学分野
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院生物科学部門
藤田 潤	幸生会琵琶湖中央病院診療部
古橋 真人	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
馬嶋 秀行	鹿児島大学医歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学
増本 純也	愛媛大学大学院医学系研究科ゲノム病理学分野
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
三浦 哲嗣	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山田 健人	慶應義塾大学医学部病理学教室
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
吉田 賢右	京都産業大学工学部生物工学科
吉森 保	大阪大学微生物病研究所
六反 一仁	徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室
和田 郁夫	福島県立医科大学医学部附属生体情報伝達研究所細胞科学研究部門

以上62名（五十音順）

~ Cell Stress Society International からのお知らせ ~

**The 8th International Congress on Stress Proteins in Biology and Medicine  
STRESS MANAGEMENT MECHANISMS AND PATHWAYS**

**August 13-17, 2017**

**Radisson Blu Marina Palace Hotel Turku, Finland**

**PRINCIPAL ORGANIZER:** **Lea Sistonen**, Åbo Akademi University, Finland

**CO-ORGANIZERS:** **John Eriksson**, Åbo Akademi University and University of Turku, Finland

**Lawrence Hightower**, CSSI, University of Connecticut, USA

**Valérie Mezger**, Université Paris Diderot, France

**KEYNOTE SPEAKERS:**

- Anne Bertolotti, UK
- Peter Walter, USA
- Marja Jäättelä, Denmark
- Rick Morimoto, USA

**INVITED SPEAKERS:**

- Ivor Benjamin, USA
- Stuart Calderwood, USA
- Antonio De Maio, USA
- Alben Dinkova-Kostova, UK
- Linda Hendershot, USA
- Anna-Liisa Levonen, Finland
- Matthias Mayer, Germany
- Kazuhiro Nagata, Japan
- Len Neckers, USA
- Elizabeth Repasky, USA
- Dennis Thiele, USA
- Cristina Bonorino, Brazil
- Serena Carra, Italy
- Brian C. Freeman, USA
- Harm Kampinga, The Netherlands
- Iara Linhares, Brazil
- Kevin Morano, USA
- Akira Nakai, Japan
- Bishr Omary, USA
- Gabriella Santoro, Italy
- Jane Trepel, USA
- Rochelle Buffenstein, USA
- Ehud Cohen, Israel
- Carmen Garrido, France
- Michael Lynes, USA
- Jorma Palvimo, Finland
- Michael Sherman, USA
- Steve Witkin, USA

*The Biomedical Society for Stress Response*

～ 事務局からのご連絡 ～

**入会手続き：**

学会ホームページから手続きをお願い致します。

<http://bssr.jp/nyukai/>

**年会費：**

一般会員 5,000 円      学生会員 3,000 円      企業賛助会員 50,000 円

以下の郵便口座へお振込ください。

加入者名：臨床ストレス応答学会

口座番号：02730-3-64452

**大会ポスターについて：**

第 12 回臨床ストレス応答学会大会のポスターを事務局に用意しております。できるだけ多くの基礎・臨床研究者に参加していただくため、ポスターを配布して宣伝していただきますようお願い申し上げます。事務局まで必要枚数をお知らせ下さい。

\*\*\*\*\*

**BSSR 事務局**

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座内 金関貴幸

TEL: 011-611-2111 (内線 26910) FAX: 011-643-2310

e-mail: [BSSR@sapmed.ac.jp](mailto:BSSR@sapmed.ac.jp)

ホームページ：<http://bssr.jp>